

## 第3回 野洲川地域安全協議会 議事概要

日時：令和2年7月3日（金） 10:00～12:00

場所：守山市コミュニティ防災センター

### 【出席者】

小西 近江八幡市長、松下 草津市危機管理監、宮本 守山市長、藤村 栗東市副市長、岩永 甲賀市長、山仲 野洲市長、山元 湖南市危機管理局長、櫻井 彦根地方気象台長、藤田 滋賀県流域政策局長、山下 滋賀県南部土木事務所長、北川 滋賀県甲賀土木事務所長、堀田 琵琶湖河川事務所長

### 【議事次第】

1. 開会
2. 前回の協議会の振り返り
3. 取組方針の策定について
4. 令和元年度の主な取組内容について
5. 令和2年度の主な取組予定について
6. その他情報提供
7. 意見交換
8. 閉会

### 【主な発言】

議題1 前回の協議会の振り返り

議題2 取組方針の策定について

#### ●取組方針について

##### <守山市>

・取組方針（案）について、昨年度の議論も踏まえて見直して頂いた。「目標達成に向けた4本柱」の1つにハード整備を入れて頂いて、大変ありがたい。追加した文言の「洪水を安全に流すハード対策」という表現には、少し違和感がある。洪水とは、あふれるもしくはあふれそうな水ではないかと思うが、この表現が専門用語として問題なければ結構である。

##### <琵琶湖河川事務所>

・平常時の流水に対して、洪水になった時の流水という意味でこの表現にしている。

<守山市>

- ・了解した。

<野洲市>

- ・取組方針（案）の修正については問題ない。しかし、ダムของ事前放流と避難における新型コロナウイルス感染症対策について、触れられていないため、取組方針（案）に記載が必要ではないか。

<滋賀県>

- ・ダムของ事前放流については5月末に協定を結んでおり、施策は動いている。この協議会に具体的なメンバーが入っていないが、施策としては取組方針（案）に入れるべきと考えるので、適当な項目の中に入れることを検討したい。

<野洲市>

- ・利水ダムの管理者は入っていないが、河川管理者が関与しなかったら、操作規則を変えられないのではないか。治水上の配慮で利水ダムの操作を変えようとしているため、取組方針（案）に記載されていなければならない。また、避難について多く記載されている中で、安全な避難、速やかな避難をしてもらうのであれば、新型コロナウイルス感染症対策については記載する必要がある。もう1度検討して頂きたい。

<琵琶湖河川事務所>

- ・今いただいたご意見を踏まえ、今後、滋賀県を含めて事務局の中で再度内容調整し、改めて取組方針を提示させて頂くこととしたい。

議題3 令和元年度の主な取組内容について

議題4 令和2年度の主な取組予定について

●ホットラインについて

<守山市>

- ・ホットラインの具体的な運用について、野洲川下流の水位は野洲観測所において、従前は3.5メートルの水位で避難準備情報、4.3メートルで避難勧告、4.8メートルで避難指示だった。今回のレベル表示に合わせて、基準とする水位が変わるということによいか。また、避難判断水位から氾濫するまでの想定時間について、野洲川下流の数字は出し得ないのか。

<琵琶湖河川事務所>

- ・正確を期するため、改めて確認した上で後日回答させて頂く。

## ●洗堰の操作について

### <野洲市>

・前からお願いしているように、私たちが市民の避難とか安全を守るためには、琵琶湖の水位情報と同等に、洗堰の情報も頂きたい。洗堰の操作について、何トン放流している等はわかるが、警戒レベルは、誰が責任を持って変えているのか、国交省が変えているのか気象庁が変えているのか姿が見えない。個別に洗堰の操作情報を頂きたい。

### <琵琶湖河川事務所>

・洗堰の操作の関係は、大雨時の操作見込み等を県と情報共有しながら進めているが、ホットライン時にも操作の状況や水位の変化等を情報共有していきたい。

## ●地先の安全度マップについて

### <野洲市>

・滋賀県の地先の安全度マップについて、河川整備の状況と土地利用状況を変えたが、直轄の河川整備の状況は入っていないのか。

・もう一つは、土地利用の改変があれば、開発許可や洪水調節の流出係数を考慮するはずである。基本的にはネガティブなほうに、洪水負荷を高めるため、その辺りをどう評価しているのか。そこまで及ばないと、市民の意識がきちっと変わらないと思うため、教えて頂きたい。

### <滋賀県>

・直轄河川の改修状況については、堤防強化等が実施されているが、平成24年当時より流下能力がさらに上がっているところや、計画的に河道拡幅したところはないと認識している。よって、地先の安全度マップの更新に当たっては、直轄区間の流下能力増というのは考慮していない。

・宅地造成等でリスクが上がるのではないかとということであるが、地先の安全度マップの解析は、平成24年当時に公表した方法と同じであり、基本的に現況の調整池で軽減させていくといったシミュレーションを行っている。

## ●国土強靱化のための3か年緊急対策について

### <野洲市>

・ハード対策の主な取組に関して県の整備は5か年計画しか書いていない。直轄区間の方は、私たちがもう1回延長を要望している国土強靱化3か年が入っているが、県は何もしていないのか。淡々と5か年計画で整備できているのであれば、一生懸命国土強靱化の延長を言う必要はないことになるが、滋賀県の見解はいかがか。

### <滋賀県>

・河川整備について、5か年計画で順次整備を進めており、緊急3か年対策の事業費によって整備を促進させている。例えば童子川、守山川、中ノ井川、北川、金勝川、葉山川、野洲川などの河川に緊急3か年対策の予算を追加し、一層の事業の促進を図っている状況である。また、ポスト緊急3か年という形で、より一層事業を促進したいため、各方面の要望を今後とも継続して進めていきたい。

#### <野洲市>

・県の河川整備に国土強靱化が考慮されているのであれば、明確に資料として共有化して欲しい。

#### <滋賀県>

・明確に緊急3か年の効果が分かり、それが具体的に県内の河川整備の進捗に寄与していることを示す資料を追加で提出させていただく。

#### <野洲市>

・資料については、このエリアだけでなく、全県でお願いしたい。

### ●淀川河川整備計画について

#### <野洲市>

・昨年度、淀川の河川整備について意見を出し、滋賀県がとりまとめたところかと思うが、河川整備計画についてどのように取り組まれるか報告を頂きたい。

#### <滋賀県>

・淀川の河川整備計画に関しては、県内市町に意見照会した上で、昨年度中に整備局に報告している。先日の知事と整備局長との会議では、関係府県から様々な意見があり、それを整備局で整理していると聞いている。今後、関係府県と整備局とで意見交換をする場を設けるよう進めていきたいと回答を頂いている。

### ●野洲市の防災アプリについて

#### <琵琶湖河川事務所>

・野洲市の防災アプリについて、例えば国の防災サイトにリンクさせることや、簡易カメラの映像等も見られるようにすることは可能か。

#### <野洲市>

・システム的には可能である。今年度改訂したハザードマップをデジタル化し、連動させようと考えている。それ以外は避難情報なども連動させようと思っている。LINEも使えるようにし、双方向ではなく、一方向にしようと思っている。市民の情報の双方向もシステムは可能であり、他の情報も載せられるが、現時点では固定系の防災行政無線での情報発進のためのアプリに限ってシステム設計しようと考えている。

## ●訓練等でのリエゾンの派遣について

### <琵琶湖河川事務所>

- ・国の職員が災害時にリエゾンとして何うこともあるが、昨年、市町の災害対策本部会議に出席させて頂きたい話をした後に、湖南市の防災訓練にリエゾン役として参加させて頂いたという経緯がある。他の市町においても、リエゾンが入れるような訓練形式になっているようなものがあれば、ぜひお声かけ頂いて、災害時に円滑に相互が動けるように取り組んでいければと考えている。

## 議題5 その他情報提供

### ●新型コロナ対策について

#### <草津市>

- ・新型コロナウイルス感染症対応に関連する通知について、7月に情報提供をされるのであれば、最新版に替えて頂きたい。

### ●事前放流について

#### <野洲市>

- ・事前放流については、随分前になるが、熊野川水系の水害から地元の首長たちと一緒に要望していた。熊野川の場合、電源開発団体であったためうまくいかず、ようやくここまで来た。
- ・補償基準は国で作っているのか、財源はどうしているのか、事前放流の協定の背景の考え方について、後日、資料提供頂きたい。
- ・もう1つは、琵琶湖も同じようにして頂きたい。琵琶湖の利水管理者は誰になるのか。どこで協定を結ぶのか。

#### <滋賀県>

- ・琵琶湖の利水関係も整理した上で別途説明させて頂く。

## 議題6 意見交換

### ●気象台におけるマスコミとの連携について

#### <彦根地方気象台>

- ・メディア連携について、気象台では、年に1、2回NHKと懇談の場を設けて、気象情報の提供や意見交換を行っている。NHK以外のメディアとの連携は、これまで十分ではなかった。今回のメディア連携の機会というものを活用して、より幅広いメディアと連携して、防災気象情報をできるだけ住民に分かりやすく提供するよう努めたい。
- ・その連携の実際の方法として1つ提案すれば、防災気象情報や河川の情報は専門用語が多くて分かりづらいというような意見をよく聞く。それと、様々なコン

テンツを発表しているが、それらをどのように読んで、どのように理解していけばいいのか等に関する勉強会等を開き、メディアの方々に十分理解して頂いて、さらに分かりやすく住民に伝えていく方法を取っていくと効果があると考えている。

#### ●メディア連携協議会について

##### <野洲市>

- ・このような大きな問題は短時間で議論するよりも、改めて協議の場を設けて議論したらどうか。
- ・住民の避難につながっていない背景について、現状認識が全然違う。気候変動ばかり言っているが、高齢化の要因がものすごく高い。だから、マスメディアではなく、自治体をもっときめ細かく情報を伝達しないとならない状態になっている。
- ・メディア協議会に市町は入っているのか。

##### <琵琶湖河川事務所>

- ・声かけしたいと考えている。

##### <野洲市>

- ・担当部長等が参画するようにしてほしい。

##### <琵琶湖河川事務所>

- ・ご意見を踏まえ、メディア連携協議会の進め方を検討する。

以 上